

学校だより

第13号

令和7年度

いつも心にあいうえお

令和7年6月18日(水)

発行：那覇尚学院高等専修学校

文責：校長 初鹿野 修

私が学校で大事にしている「聴き方」です。

『アクティブな聴き方』

- 1, 話している人の方を向く
- 2, 話を聴きながら、心の中で考えて「自分事として話」をする。
- 3, 話を聴きながら「わからない」ことを発見する
- 4, 話を聴いた後、話の内容を人に伝える
- 5, 話を聴いた後、感想や意見を言う
- 6, 話を聞いた後、話について質問する
- 7, 話の続きを想像する
- 8, 話から自分の言葉を引き出す

アクティブな聴き方・話の聴き方達人、わからないの達人の資料は、都留文化大学の古屋和久先生の資料から許可を得て転載しています

2025 那覇尚学院高等専修学校VERSION

そして、「聴き方」の達人 MANDARA

わからないの達人MANDARA

N01 話している人の表情から心の中を読むことができる	N02 聴きながら心の中で「でこでそう考えたのか」考えられる	N03 聴きながら「わからない」ことを発見できる
N08 仲間（自分）の言葉を引き出すことができる		N04 聴いた話の内容を人に伝えられる
N07 話の続きを想像しながら聴ける		N05 聴いた話について自分の感想や自分の考えが言える
N06 聴いた話につなげて、自分の考えを深めることができる		

N01 いつも「わからない」を探している	N02 「わからない」に出会うと嬉しくなる	N03 すぐに「わかったつもり」にならない「わかったふり」をしない
N08 「わからない」を仲間と考えることが楽しいと感じる		N04 自分がわかるまで何度でも「わからない」と言える
N07 「わからない」を明るくポジティブに考えられる		N05 自分の「わからない」を積極的に伝えようとする
N06 「わからない」に出会って困らない。悲しまない		

これは、教室を全面的に開放して出来ることです。教師がそのような姿勢でないと生徒はついてきません。教師の授業改革が実践されると、そこに、生徒たちの自然な姿として上記の達人が生まれます。でも、これも教師だけではできません。生まれてきません。生徒も積極的な「聴き方」をして、そこで疑問が出てきたことは、すぐ「訊く」です。わからないことは、決して恥ずかしいことではありません。むしろ、「わからないこと」は次へのステップアップのための条件です。

ご家庭でも、「最近、聴き方はどう？」とか、「わからないところは どうしてる？」など自然な声かけがあると意識できると思います。この表を教室でみて、自己分析をして、「できているなあ」という感想も出ていました。ご家庭でも、「こんな表があるってね」と情報を共有していただけるとさらに意識が高まると思います。

教室のマスコット
「4匹の金魚」

2人でえさやり、水槽掃除など楽し
くお世話しています

2年の指定課題
研究「落花生」

落花生のこの名
前の由来がそだ
てるとよくわか
ります。

1年の指定課題
研究「稲」

今年は順調に育
っています。稲
の花をみて最後
は米の収穫まで